

第1回（仮称）子ども発達支援計画行動計画2024～2026 検討部会の開催結果について

1 概要

- (1) 日時 2023年5月11日（木）18時から19時40分まで
- (2) 場所 市庁舎 会議室3-2、3-3
- (3) 内容 報告2件、議題2件
- (4) 出席 委員8名、事務局14名、傍聴者0名

2 報告事項

報告1 子ども発達支援計画行動計画2024～2026の策定について

新たに2024年度から2026年度を計画期間とする（仮称）子ども発達支援計画行動計画の策定作業を進めるにあたり、本計画の制度上の位置づけや特徴、経緯、今年度の策定スケジュールなどを事務局から説明した。

報告2 国の基本的指針について

「子ども発達支援計画 行動計画」は、児童福祉法の規定に基づき国が示す基本的指針に基づき策定する必要があることから、現時点で国が示している基本的指針案の概要を事務局から報告した。

3 議題

議題1 アンケート・ヒアリング実施概要について

議題2 アンケート・ヒアリング項目素案について

事務局説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児や保護者が置かれている状況及び支援機関の状況について把握するため、アンケート及びヒアリングを実施する。 ・ アンケートは、保護者、子ども本人、関係機関（管理者・従事者）、事業所（児童発達支援事業所等）に実施する。 ・ ヒアリングは、子どもの発達支援に関する課題について把握するため、アンケートの結果を踏まえながら、各種団体、連絡会（計10団体）に実施する。 ・ 事務局からアンケート項目の素案（資料12-1～12-4）を示し、検討部会委員からの意見を踏まえ修正等を行う。
-------	--

主なご意見	<p>「保護者及び子ども本人への調査」（資料12-1）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問17の「現在の通園・通学先」を尋ねる設問について、現在は通信制や専修学校などに進学する子どもも増えているので選択肢を見直したほうが良い。 ・ 16ページにおいて、子ども本人に「今の生活の中で楽しいこと」を尋ねているが、中学生以上を対象にした既存のアンケートを参考にしながら、子どもの現状（インターネット動画の視聴など）に即して選択肢を見直したほうが良い。 ・ 同ページにおいて、子ども本人に「今の生活が充実しているか」を尋ねているが、「充実」という言葉を適切に理解できるのか。子どもにイメージできるような工夫が必要である。 ・ 同ページにおいて、子ども本人に「高校卒業後の進路先」を尋ねる際の選択肢として、「大学へ進学したい」より、「もう少し勉強したい」のほうが分かりやすいのではないか。 ・ クロス集計の結果、保護者の意見と子どもの意見との間に差異（ギャップ）があることを確認した場合に、その差異自体を否定的にとらえることを前提に評価するべきではない。
-------	--

4 今後のスケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アンケート実施		→									
ヒアリング実施			→								
調査報告書				→							
計画素案作成					→						
市民意見募集								→			
計画案作成									→		
検討部会	1					2			3		
子ども・子育て会議	▲						▲			▲	